

## Introduction

みなさん、こんにちは、ハピです。みなさんの資産形成を考える上で必要となる金融・経済用語を基礎からご紹介します。妹のハナと一緒にゆっくり勉強していきましょう！



**ハピ**

世界初の犬のファンド・マネジャー、「ワンド・マネジャー」として働く金融のエキスパート。すべてのお客様にハッピーをお届けするため、世界中を駆け回ります！



**ハナ**

お金や経済のことはサッパリわからないけど、兄のハピにはめっぽう強気。つみたてNISAが始まったことを知って、「自分もチャレンジしたい」とやる気MAXです！



## ドルコスト平均法 Part 2



前回お兄ちゃん言ったよね。  
ドルコスト平均法って積立みたいだって。



うん、そうだね。一番イメージしやすいと思うよ。  
あれ？ハナちゃんは何か積立やってるの？

こう見えてワタシは意外と堅実派なんだけど、積立はやったことない。  
積立とドルコスト平均法には何か関係があるのかな？

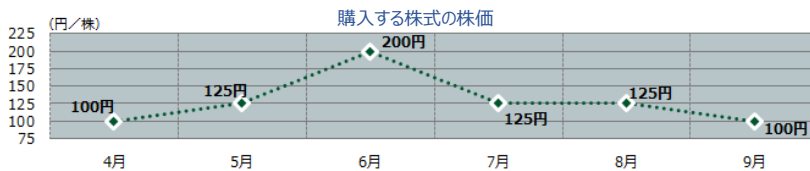


詳しく解説する  
ワン！

## ドルコスト平均法って何？ ②

### 積立とドルコスト平均法

- 積立と言えば、積立預金を思い浮かべると思う。例えば、ハナちゃんが社会人になって受け取るお給料から、定期的にあらかじめ決めた額のお金を積み立てていきやり方だね。
- ドルコスト平均法も手法は同じだけれど、こちらは預貯金ではなくて投資、つまりリスクを伴っている。ドルコスト平均法の目的は、予定していた金額分を価格変動のリスクを抑えて購入することにあるんだ。だからこそ、定期的に、毎回一定の金額で、同じ商品に投資することが大事なんだワン。
- 下のグラフと表は、例①はドルコスト平均法に則ってあらかじめ投資する金額を決めた場合、例②は金額ではなくて取得する株数を決めた場合、この二つを比較したものだよ。あくまでハナちゃんに分かってもらうためのサンプルだから、実際に同じようなことになるとは限らないけれど、「リスクを抑える」という考えを分かってもらえるとうれしいな。



一定額だけ購入した方が、より少ない投資金額で多くの株式を購入できました。

1株当たり株価	100円	125円	200円	125円	125円	100円
---------	------	------	------	------	------	------

例① あらかじめ投資する金額を決めて投資した場合：							合計
投資額	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	6,000円
取得した株数	10株	8株	5株	8株	8株	10株	49株
購入した株式の1株当たり平均価格							122.4円

例② あらかじめ投資する株数を決めて投資した場合：							合計
投資額	800円	1,000円	1,600円	1,000円	1,000円	800円	6,200円
取得した株数	8株	8株	8株	8株	8株	8株	48株
購入した株式の1株当たり平均価格							129.2円

※ 説明には金融機関等での手数料等は含んでいません。



## ご留意事項

### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

### ●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%（税抜1.88%）
- その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。  
投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会